

マヤ長期暦と惑星周期の同期

高橋 徹

木星の作用は、特に人間の脳を、アストラル的に細部にいたるまで組織化します。(シユタイナー⁽¹⁾)

はじめに

筆者は1988年初頭からマヤ暦を学びはじめた。4年後の1992年からはアメリカのホゼ&ロイディン・アグエイアス夫妻がマヤ暦の研究をもとに開発した「ドリームスperl」というゲームキットや、その中に含まれていた「13の月の暦」と呼ばれる新しい暦(伝統的なマヤ暦ではない)を日本の多くの人たちに紹介し、その普及活動を2000年までの8年間続けた。この8年間とは、アグエイアス夫妻の著書『13の月の暦・説明書』にある8年間のことである。

13の月の暦に、8年間——紀元1992年〜2000年——従うことで、あなたは現在の三次元的な時間のモデルである1週間7日から、銀河の時間のモデルである13キンのウェイブスperlへの移行を成し遂げ

ることができません。⁽²⁾

この新しい暦の普及活動を先導した立場からすると、マヤ暦に関する別な解釈体系をここで紹介することは、日本の「13の月の暦」ユーザーやマヤ暦に関心のある人に新しい知識を提供するいっぽうで、さらなる情報の混乱を招きかねないことも承知している。⁽³⁾しかし、本論もまた現時点では(1992年から32年経過した今日では)必要なことだと感じており、その思いに従って以下の文章を書く次第である。

なお、本稿では各種の暦の日付やその他の計算等で数字を多用するので、特別な場合を除き、漢数字の代わりに算用数字(アラビア数字)を用いることにする。

第一章 ジェラルディン・A・パトリック・エンシーナ博士の仮説

ジェラルディン・パトリック博士の略歴

本論の第一章は、民族生態学者、文化天文学者であり、チリ系マップチェ人⁽⁴⁾とスコットランド系ゲール人を祖先に持つジェラルディン・アン・パトリック・エンシーナ博士(以下、パトリック博士と称す)の論文に刺激されて書き起こしたものである。まずは博士の活動や業績を紹介しよう。

同女史は1993年にチリのビオビオ川の自由な流れを求めるマップチェ(チリ中南部からアルゼンチン南部に住むアメリカ先住民)の闘争に加わった環境保護活動家であり、その後、チリ南部、メキシコ高地、ニューヨーク州の河川保護活動を支援したことで知られている。